



# 子育てチャンネル

## 子どものワークライフバランス

皆さんのご家庭では、お子さんの習い事や少年団活動を始めていらっしゃるでしょうか。

習字やそろばんなど教養のためのものや、スポーツや武道など運動のためのものまで、

東川町にはたくさんさんの選択肢がありますね。かくいう私も、

1年生になった息子のことで思いをめぐらす日々を過ごしています。将来のために、今のうちから何か始めておいた

方が良いのかなとも思うのですが、本人にはあまりその気がないようで、家と学校それから学童を往復する毎日です。

何かを始めるきっかけはいつやってくるのでしょうか。自分からやりたいと言いはじめるまで待つこともできませんし、大人がきっかけをつくることもできません。友達がきっかけになることもあるでしょう。何をやるにしても、本人の良

いところを伸ばすものであったり、何より本人が好きなものに出合えたりすることが親にとっては一番の喜びです。

ワークライフバランスという言葉がありますね。私は子どものことを考える時、いつも子どもにとつてのワークライフバランスを

考えます。ワークは公の場面、つまり幼児センターや学校です。少し頑張る時間です。ライフは私の場面、つまり自分の家やよく行く公園など生活や遊びそのものです。

自分を開放する時間です。習い事や少年団がライフの時間になれば子どもにとつても良いのでしようが、背伸びをし



たり頑張り過ぎたりしてワークの時間になってしまったりはバランスが崩れてしまいます。子どもにとつてのライフは

どんなものでしょう。私は遊びの時間にライフの根っこがあると考えています。

幼児センターの

お迎えの後、友だちと鬼ごっこを

している瞬間、羽衣公園で庭石に登っては

飛び降りている瞬間、飽きずにボールを追いかけて友だちとしゃべりながら草つきをする瞬間。これは親にとつてはとるに足らない時間かもしれないですが、自分で選んで、自分で決めています。

やりたいことをやっている。これがライフだと思つたのです。

ライフはやりたいという気持ちそのものです。

この小さなライフが積み重なっていくと、やりたいことがだんだんと高度になり、やがて自分自身を形づくっていくのではないのでしょうか。良い習い事や良き少年団に出合えるように、今はたくさんさんのライフを積み重ねてもらいたいと願うばかりです。

私は地域交流センターを拠点に、食育をはじめとして放課後活動の充実に取り組んでいます。子どもたちにたくさんさんのライフを積み重ねてもらえるようにさまざまな企画をしていきますので、ぜひ参加してください。

地域交流センター

小林 峻